

**分野別情報****第1回動物用医薬品専門調査会確認評価部会議事概要**

平成19年2月28日(水) 14:00~17:10

議事概要:

(1)動物用医薬品(ポジティブリスト制度関連)に係る食品健康影響評価について

- 1)パロモマイシンについて審議された結果、一日摂取許容量(ADI)を0.025mg/kg体重/日とすることが了承され、評価書(案)を動物用医薬品専門調査会に報告することとなった。
- 2)カナマイシンについて審議された結果、一日摂取許容量(ADI)を0.008mg/kg体重/日とすることが了承され、評価書(案)を動物用医薬品専門調査会に報告することとなった。
- 3)ベンジルペニシリンについて審議された結果、「一日摂取量が30 $\mu$ g/ヒト未満であれば、ヒトに重大な危険は及ぼさないと判断するとして評価を変更する必要はない。なお、ベンジルペニシリンの摂取を実行上可能な限り少なくすることが望ましい。」とすることが了承され、評価書(案)を動物用医薬品専門調査会に報告することとなった。
- 4)エチプロストンについて審議された結果、「適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる」とすることが了承され、評価書(案)を動物用医薬品専門調査会に報告することとなった。また、エチプロストントロメタミンを有効成分とする牛の注射剤(プロスタベットC)及び豚の注射剤(プロスタベットS)についても審議された結果、「当製剤は、適切に使用される限りにおいて、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できると考えられる」とすることが了承され、評価書(案)を動物用医薬品専門調査会に報告することとなった。
- 5)ドキシサイクリン、ラフォキサニドについては審議の結果継続審議となった。

&lt;参考&gt;

- 1)~3)は抗生物質で、細菌感染症の治療に用いられます。
  - 4)エチプロストン、エチプロストントロメタミンを有効成分とする牛の注射剤は家畜の繁殖用薬剤として用いられています。
  - 5)ドキシサイクリンは抗生物質で、細菌感染症の治療に用いられます。ラフォキサニドは駆虫薬で、線虫類、吸虫類の駆虫に用いられます。
- 1)~5)はいずれもポジティブリスト制度導入に伴う残留基準値が設定されています。

〒100-8989 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー6階 TEL 03-5251-9229 FAX 03-3591-2237

Copyright © 2006 Food Safety Commission. All Right Reserved.

[プライバシーポリシー](#)